

# 分科会の名称 里山と観光



## 委員名と役割分担

分科会長	瀧和夫
副分科会長	石井星守
書記	千葉智雄
実行委員	千葉雅弘 石井裕一 天野佳正 田中崇大

## タイムテーブル

11:00~11:10	第6分科会(里山と観光) 分科会長挨拶
11:10~12:00	千葉県の里山と観光のむかし・いま・これから 講師：千葉県商工労働部参事 岩瀬 正夫
13:00~13:25	里山とエコツーリズム 講師：プロカメラマン 飯田 裕
13:25~13:50	里山と観光農業 講師：安房高等学校教諭 愛沢 伸雄
13:50~14:15	里山と公園 講師：千葉自然学校 理事 浅井 信
14:15~14:40	意見交換・質疑応答

出席者数 32名

## 基調講演等の内容

### 1) 里山の維持と観光

千葉県の里山は、全体的に見れば、標高が低く特に北総地方は低地で畑、草地や谷津田が多く、気候は温暖である。安房上総地方では棚田や谷津田が見られ樹林帯としては常緑樹林、針葉樹林、落葉広葉樹林が交じり合い、秋の紅葉の時期は彩も交じり合う温暖な土地柄である。

また海では黒潮と親潮が合流する地点でもあり、植物や生物の南限、北限など合流地点が多くみられるのが特徴である。

この里山を豊かな生活空間として残す視点から見た場合でも、観光資源として活用し、多くの人に親しまれる里山にすることは有意義である。

### < 取り組みのポイント >

方向性 : 里山を千葉県の新たな観光資源として活かす。

背景 : 21世紀型観光としてスロー・体験・滞在型、環境保全や取り戻した時空に浸る

旅行志向の芽生え。

問題形成 : 過疎化が進み里山から人の手が離れ自然荒廃、生態系の循環に狂いが生じている。

問題解決 : 里山空間の一部を公園化する。

里山を整備し、観光客を誘客し満足度と共に経済効果を求める。

過程・手順 : 手法、エビデンス: ボランティア、NPO、千葉自然学校の活用をして拠点をつくり県全体に広げて行く。

検証 : 継続的に問題点・課題を対処する。

## 2) 講演内容

基調講演では岩瀬氏が「今、なぜ里山公園の実現化が求められるのか 里山とは 里山の観光への可能性 言葉の定義づけ 観光のむかし、いま、これから」を講演した。

飯田氏は、スライドを使用して「太平洋のフィジーやイースター島、群馬県の事例、房総の里山等の風景」を映写しながら里山とエコツーリズムを語った。

愛沢氏は、歴史をひも解きながら長狭高等学校時代に体験した、同地方に多くある棚田を中心とした里山について、生徒と共に行った体験を語った。

浅井氏は、NPO法人千葉自然学校の運営をもとで取り組んできた、新しい概念の下での公園と観光における、里山の役割について語った。

## 3) 講演の中から

里山とは「生命と自然が溶け合う場」である。（「里山空間」の認識）

「自己・地域を大切にする心」が人々の誇りにつながる。

「地域の文化・財産への理解」が"価値の認識"となる。

里山を語る人（里山教室の講師、ガイドなど）の育成。

「異空間（里山空間 対 都市空間）の共有」のための交流が生まれる。

「モテナシ」の心は、生活の延長線上に「里山観光」を成立させる。

参加型体験（あるいは歴史的・風土的必然性に基づいた）が必要である。

次世代への継承を含めた長期的な展望が必要である。

「イベント参加者の半分近くは、県外からの来訪者である」ことの認識を持つ。

討論会等の内容 参加者が、里山関連の人が大半であったこと、また質疑時間があまりなかったこともあり、若干のコメントを求める程度の質疑に終わった。

## 分科会の結論と課題

里山の問題として、現状においては衰退する里山をどう保全するか、里山と人の共生をどう守り、そこから生命の息吹を享受するか、など産業の近代化のなかで押しつぶされそうになっている「自然との共生」をどう取り戻すかにあるが、その中で、第6分科会は、取組が始められている里山による観光について、その意義を認識し、里山の観光をとおして「里山の維持と観光立県が両立できるよう」将来の展望に期待を描いて終了した。

千葉県には、首都圏3000万人に提供できる「里山に抱かれた暖かな憩いの場」があるが、そのためのインフラ構築が不十分であるなど、顧客サイドから見た課題を探る必要がある。

## 分科会の提言

一般の人も参加するような形に広報活動を広げる必要がある。

## その他特筆すべき内容

会場はすばらしかった。しかし、大半の参加者にとって遠すぎる。

## 反省等

会場は都市部にした方がよい。不便な場所で行なうと、特定の限られた人のみが集まることになる。

片手まで取り組まざるを得ない以上、やむを得ないのであろうが、準備段階の状況がわかりにくいことが多く、少なくとも「決定事項」「検討中事項」が一目でわかるHPを設けると良いと思う。